

(2019年度)

4 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は21ページ, 4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に, 試験監督者から指示があったら, 解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し, 所定の欄に氏名を記入すること。次に, 解答用紙の右側のミシン目にそって, きれいに折り曲げてから, 受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し, 机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能を使用してはならない。また, スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は, 解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき, マーク欄からはみ出したり, 白い部分を残したり, 文字や番号, ○や×をつけたりしてはならない。また, マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 以下の設問(1～2)に答えなさい。

設問1 次の文章(A～D)を読んで、空欄(ア～ソ)に入るものを答えなさい。解答は選択肢(a～e)から最も適切なものを1つ選びなさい。

A 前3世紀半ばに、アム川上流のギリシア人が独立して(ア)を建国した。この頃、遊牧イラン人の族長アルサケスもカスピ海南東部に(イ)を建国した。この(イ)を倒して建国されたのが、農業に基礎をおくイラン人によって建国されたササン朝である。このササン朝は、5世紀後半、中央アジアの騎馬遊牧民(ウ)の侵入をうけたが、(エ)の時代にトルコ系遊牧民の(オ)と結んで(ウ)を滅ぼした。

B 隋唐時代にモンゴル高原を中心とする北方で勢力をもったのは、トルコ系の(カ)、ついで(キ)である。6世紀中頃に中央アジアから中国東北地方にいたる大遊牧国家をつくった(カ)は、同世紀末に東西に分裂したものの、唐の建国に際し騎馬軍団をもって援助するなど、大きな勢力であった。8世紀半ばに東(カ)を滅ぼした(キ)は、唐代中期以降の混乱に乗じて中国を圧迫したが、9世紀には(ク)に敗れて滅亡した。

C 中央アジアの遊牧民であったトルコ人は騎馬戦士としてすぐれていたもので、アッバース朝のカリフは、9世紀初め頃からマムルークと呼ばれるトルコ人奴隷を親衛隊としてもちいた。中央アジアから西方に進出したトルコ人の(ケ)もこれらのマムルークを採用し、強力な軍隊組織をととのえた。(ケ)の建国者トゥグリル=ベクは、1055年にブワイフ朝を追ってバグダードに入城し、アッバース朝カリフから(コ)の称号を授けられた。その後モンゴルの勢力が発展し、(サ)の率いるモンゴル軍は西アジアに進出して、1258年にバグダードを落とし入れた。(サ)はイラン・イラクを領有して(シ)を開き、(ス)のときにイスラーム教を国教に定めた。

D 13世紀に(セ)の率いるモンゴル人がロシアに侵入, 南ロシアに(ソ)をたてると, キエフ公以下の諸侯はこれに屈服し, 約240年の長きにわたってモンゴル支配に服した。これをロシアでは「タタール(モンゴル人)のくびき」と呼んだ。

- (ア) a ソグディアナ b バクトリア c パルティア(安息)
 d フェルガナ(大宛) e メディア
- (イ) a ソグディアナ b バクトリア c パルティア(安息)
 d フェルガナ(大宛) e メディア
- (ウ) a エフタル b 匈奴 c スキタイ d 大月氏 e 突厥
- (エ) a アルダシール1世 b キュロス2世 c シャープール1世
 d ダレイオス1世 e ホスロー1世
- (オ) a エフタル b 匈奴 c スキタイ d 大月氏 e 突厥
- (カ) a ウイグル b 匈奴 c キルギス d 鮮卑 e 突厥
- (キ) a ウイグル b 匈奴 c キルギス d 鮮卑 e 突厥
- (ク) a ウイグル b 匈奴 c キルギス d 鮮卑 e 突厥
- (ケ) a ガズナ朝 b カラハン朝 c セルジューク朝
 d ファーティマ朝 e ムラービト朝
- (コ) a カーディー b カリフ c スルタン d 大アミール
 e ハン
- (サ) a オゴタイ b グユク c ジュチ d バトゥ e フラグ
- (シ) a イル=ハン国 b キプチャク=ハン国 c クリム=ハン国
 d コーカンド=ハン国 e チャガタイ=ハン国
- (ス) a オゴタイ=ハン b ガザン=ハン c キプチャク=ハン
 d チャガタイ=ハン e フビライ=ハン
- (セ) a オゴタイ b グユク c ジュチ d バトゥ e フラグ
- (ソ) a イル=ハン国 b キプチャク=ハン国 c クリム=ハン国
 d コーカンド=ハン国 e チャガタイ=ハン国

設問2 以下の問(1～5)の説明としてもっともふさわしいものを、次の選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

問1 前7～前3世紀、カフカス・黒海地方の草原地帯にいたイラン系の騎馬遊牧民。

- a エフタル b 匈奴 c スキタイ d 突厥 e フン人

問2 内陸アジアの草原地帯の東西で遊牧民の活動が活発となった4世紀に西進を開始し、4世紀後半にはドン川を越えて西にすすみ、東ゴート人の大半を征服した。

- a エフタル b 匈奴 c スキタイ d 突厥 e フン人

問3 2世紀半ばより匈奴にかわってモンゴル高原を支配した狩猟遊牧民。3世紀半ば以降各部が台頭するなか、五胡の一つとして内モンゴル・華北に入り、4世紀後半に拓跋氏が北魏を建てた。

- a 羌 b 柔然 c 鮮卑 d 氐 e 突厥

問4 ブハラ=ハン国、ヒヴァ=ハン国、コーカンド=ハン国などをつくった中央アジアの民族。

- a ウイグル人 b ウズベク人 c カザフ人 d キルギス人
e トルクメン人

問5 ソグド人の本拠地ソグディアナの中心都市。1220年にモンゴルによって廃墟とされたが、再建されティムール朝の首都として繁栄した。

- a イスファハーン b カンダハル c カシュガル
d サマルカンド e タシケント

2 次の文を読み、問(1～3)に答えなさい。

1937年7月の(1)で始まった日中戦争は、中国側の抵抗が強く、日本の意図に反し長期化した。このとき、アメリカとイギリスは重慶を拠点とする(2)を支援するため、フランス領インドシナと英領ビルマ経由で援助物資を送った。北進を意図していた日本であったが、1939年5月にノモンハン事件^(ア)で大敗すると、以後は南進政策へ傾くようになる。翌1940年6月にフランスがドイツ^(イ)に降伏すると、同年9月にはフランス領インドシナ(北部)へ進駐し、直後に(3)を結んで枢軸国間の団結を決定的にした。翌1941年になると北方の脅威を取り除く目的から(4)を結び、つづいてフランス領インドシナ(南部)へ進駐した。これがアメリカの日本に対する態度をいっそう硬化させることになった。^(ウ)

1941年4月から11月までおこなわれた日米交渉は最終的に決裂し、日本軍は東南アジアへの全面侵攻に乗り出す。同年12月8日未明に(5)へ上陸作戦を開始すると、ほとんど同時にハワイ真珠湾に停泊するアメリカ海軍の太平洋艦隊を奇襲した。これがアジア・太平洋戦争の始まりである。戦局は当初、日本軍に有利に展開したが、1942年6月のミッドウェー海戦と、それに続くガダルカナル島攻防戦で敗北を喫すると、以後はアメリカ軍が優勢となった。1944年7月には南洋群島の要であった(6)が陥落し、その責任を取る形で(7)内閣が総辞職した。

この間、東南アジアでは戦前からの独立国である(8)と、日仏共同統治がなされたフランス領インドシナを除き、日本軍による直接ないしは間接の支配がなされた。そのため、各地で^(カ) 圧政が生じて経済状態も悪化し、地元住民が苦しむことになった。(9)ではタキン党出身の(10)が率いる抗日闘争がおこるなど、規模は限定的ながらも、いくつかの地域では日本軍への直接的な抵抗^(キ)が見られた。

問1 文中の空欄(1～10)に入る最も適切な語を、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a 柳条湖事件 b 盧溝橋事件 c 義和団事件
d 西安事件
- (2) a 毛沢東が率いる中国共産党政府 b 汪兆銘が率いる国民政府
c 袁世凱が率いる中華民国政府 d 蔣介石が率いる国民政府
- (3) a 日独防共協定 b 日独伊三国防共協定
c 日独伊三国同盟 d 日独伊友好協力条約
- (4) a 日ソ中立条約 b 日ソ相互援助条約
c 日ソ武器貸与条約 d 日ソ不可侵条約
- (5) a マレー半島 b シンガポール c スマトラ島
d フィリピン
- (6) a レイテ島 b 硫黄島 c パラオ d サイパン島
- (7) a 米内光政 b 東条英機 c 鈴木貫太郎 d 近衛文麿
- (8) a カンボジア b ブルネイ c タイ d インドネシア
- (9) a タイ b インドネシア c フィリピン d ビルマ
- (10) a チャンドラ=ボース b アウン=サン c サヤ=サン
d スカルノ

問2 問題文の下線部(ア～キ)について、以下の問に答えなさい。

- (1) 下線部(ア)の説明として正しいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。
 - a モンゴル人民共和国とソ連との国境付近で生じた日ソ間の武力衝突である。
 - b 満州国とソ連との国境付近で生じた日ソ間の武力衝突である。
 - c 満州国とモンゴル人民共和国との国境付近で生じた日ソ間の武力衝突である。
 - d 中国と満州国との国境付近で生じた日ソ間の武力衝突である。

(2) 下線部(イ)の説明として正しいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a これによりフランス全土はドイツによって直接統治されることになった。
- b これによりフランスは二つに分割され、南部にはド＝ゴール率いる親ドイツのヴィシー政府が成立した。
- c これによりフランス全土はダラディエ率いる親ドイツの政府によって統治されることになった。
- d これによりフランスは二つに分割され、南部にはペタン率いるヴィシー政府が成立した。

(3) 下線部(ウ)の説明として正しいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アメリカは日本に対する石油とくず鉄の輸出を禁止した。
- b アメリカは日本から大使を引き上げた。
- c アメリカは日本人の入国を全面的に禁止した。
- d アメリカは在米のすべての日系人を強制収容した。

(4) 下線部(エ)の説明として誤っているものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 日本軍の中国からの撤兵について議論された。
- b 日本軍の朝鮮半島からの撤兵について議論された。
- c 「ハル＝ノート」を受け取った日本政府は自ら日米交渉を打ち切った。
- d このときのアメリカ大統領はフランクリン＝ローズヴェルトである。

(5) 下線部(オ)の説明として誤っているものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a イギリス領のシンガポールを占領した。
- b アメリカ領のフィリピンを占領した。
- c オランダ領のジャワ島を占領した。
- d イギリス領のスマトラ島を占領した。

(6) 下線部(カ)の説明として誤っているものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 日本軍の占領地域では物資の自由な移動が禁止され，工業製品の輸入もできなくなった。
- b 日本軍がすすめたタイ＝ビルマ鉄道建設工事によって，多数の連合軍捕虜と東南アジアの人々が犠牲になった。
- c 日本の植民地と占領地の女性のなかには，慰安婦として戦場に送られた者もいた。
- d 日本軍の占領地域では皇民化政策が実施され，日本人への同化が強制された。

(7) 下線部(キ)の説明として正しいものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ベトナム独立同盟会(ベトミン)は大戦中を通じて抗日闘争を展開した。
- b ガンディー率いる「日本軍は東南アジアから立ち去れ」運動が展開された。
- c インドネシアでは抗日民族統一戦線が結成された。
- d 日本と戦うための国際義勇軍が連合国側からビルマに送られた。

問3 アジア・太平洋戦争の主要舞台となった東南アジアに関する以下の問に答えなさい。

(1) 当時の東南アジアの中で，イスラームを信仰する人間が過半数を占め，かつ石油を産出していた植民地はどこか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 英領ビルマ
- b オランダ領東インド(インドネシア)
- c アメリカ領フィリピン
- d 英領シンガポール

(2) ジャワ島に関する説明として誤っているものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a シャイレンドラ朝の時代に建立された石造遺跡ボロブドゥールがある。
- b インドネシア民族運動の先駆者とされるカルティニが生まれ育った。
- c イスラーム王朝のマジャパヒト王国がこの島の東部を支配したことがある。
- d ヒンドゥー王朝の古マタラム朝がこの島の中部を支配したことがある。

(3) ビルマに関する説明として誤っているものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a パガン朝は先住民のピュー人が建てた統一王朝である。
- b 11世紀に上座部仏教を受け入れて以来、仏教国として知られている。
- c イラワディ(エイヤーワディ)川流域に居住していた先住民のモン人は、タイ側で7世紀から11世紀にかけてドヴァーラヴァティをつくった。
- d コンバウン朝はビルマ最後の統一王朝である。

(4) タイ(シヤム)に関する説明として正しいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a スコータイ朝はイスラーム王朝として知られ、マラッカ海峡への進出をはかった。
- b アユタヤ朝は16世紀にビルマのタウングー(トゥングー)朝を滅ぼした。
- c ラタナコーシン朝のラーマ5世(チュラロンコン)はイギリスとパウリング(ポーリング)条約を結んだ。
- d バンコクはラタナコーシン朝のラーマ1世が定めた王都(首都)である。

3 次の文章を読んで、後の問(1～7)に答えなさい。解答は選択肢(a～d)から最も適切なものを1つ選びなさい。

11世紀から13世紀の西ヨーロッパは、諸民族・諸勢力の移動が終息を迎え、^(A)気候も安定して各地で農業生産力の増大と人口の増加がみられた。人口の増加は、^(B)

ヨーロッパ内部では中世都市^(C)の成立や植民運動の活発化を引き起こし、外部においては十字軍^(D)や国土回復運動(レコンキスタ)の要因となった。十字軍の精神的な支柱はローマ教皇であったが、教皇^(E)がこのような指導力を発揮するようになったのは、中世初期から不安定な時期を経つつも、11世紀頃にローマ=カトリック教会の権威が確立したからである。11世紀以前には、西ヨーロッパ内部においても教会の影響が大きく及ばない地域が依然として存在したが、修道士^(F)などによる伝道・教化活動が実を結び、カトリック化が進展した。このような動向は周辺地域にも波及し、東ヨーロッパ^(G)の諸地域では神聖ローマ帝国との関係の深まりなどからカトリックを受容する王国が複数出現した。

問1 下線部(A)について、イングランドは4世紀以降さまざまな外部勢力の侵入を受け、11世紀までにいくつもの政治的変動を経験した。これについて、下記の出来事を時代順に並べた場合、3番目にあたるものはどれか。

- a ノルマンディー公ウイリアムによるノルマン=コンクエスト
- b エグバートによるイングランド統一
- c クヌート(カヌート)による「北海帝国」の樹立
- d アルフレッド大王によるデーン人の撃退

問2 下線部(B)について、下記の文章を読み、次の問(1~2)に答えなさい。

この時期の農村には、農地を分割し、それぞれの農地を季節によって順番に耕作し、あるいは休ませる(ア)という方法が広まった。これによって休閑地を放牧地として利用したり、年に複数回の収穫が見込めるようになったりして、生産物の種類は増加し、また収量も増加した。さらに、牛、のちには馬に有輪犁をひかせて土地を深く耕すことが可能となり、これもまた生産力の増大に直結したが、この背景には(イ)の精錬法が発達し、農機具への転用が容易になったことがあげられる。農業生産力の増大は人口の増加を招き、ヨーロッパ各地で開墾が進むにつれて新しい村が建設されるようになり、既存の村落においても領主直営地で課せられた(ウ)中心の負担が軽減されて、農民保有地から納められる

(エ)の定率化・定量化が進んだ。この時期の農業経営の多角化や農業技術の向上は、新村建設の特許状や農村慣習法、農書のなかにもみることができる。しかし、農民の社会的身分は決して高くなく、(オ)と呼ばれる不自由民が多かった。彼らには移動の自由がなく、さまざまな制約があった。

(1) 空欄(ア～オ)に入る語句はどれか。

- (ア) a 二圃制 b 三圃制 c 混合農業 d 地中海式農業
- (イ) a 銅 b 青銅 c 鉄 d 錫
- (ウ) a 貢納 b 賦役 c 軍事的奉仕 d 十分の一税
- (エ) a 貢納 b 賦役 c 軍事的奉仕 d 十分の一税
- (オ) a ヘイロータイ(ヘロット) b 参審人 c 農奴
d ヨーマン

(2) (オ)について述べた下記の文のうち、誤っているものはどれか。

- a 彼らは領主の裁判権に服さなければならなかった。
- b 彼らが死亡した際に、相続人は税を徴収された。
- c 彼らは水車やパン焼きがまなど、村内の施設の使用料を徴収された。
- d 彼らは家族を持つことができなかった。

問3 下線部(C)について、次の問(1～2)に答えなさい。

(1) 中世都市について説明した下記の文のうち、正しいものはどれか。

- a 中世都市は商工業の中心地であり、各都市をつなぐ商業圏が複数成立した。
- b 中世都市は領主の支配を受け続け、とくにイタリアでは自治権を獲得することは困難だった。
- c 中世都市は一般に城壁で囲まれており、新たな住民が流入することはなかった。
- d 中世都市に成立したギルドの働きにより、誰でも自由な商工業活動ができた。

(2) 各地でさかんに建設された聖堂(教会)は、中世都市の繁栄と住民の結束を物語っている。12世紀以降、北フランスから西ヨーロッパに広がった建築様式では、尖頭アーチの導入などにより高さが演出され、ステンドグラスを用いることで聖堂内部は多くの光で満たされた。この様式に該当する聖堂はどれか。

- a ピサ大聖堂 b サン=ヴィターレ聖堂(ラヴェンナ)
- c サン=ピエトロ大聖堂(現ヴァチカン市国) d シャルトル大聖堂

問4 下線部(D)について、次の問(1～4)に答えなさい。

(1) 十字軍について説明した下記の文のうち、誤っているものはどれか。

- a 十字軍の派遣は、1095年のクレルモン宗教会議において呼びかけられた。
- b 第1回十字軍は聖地イェルサレムの奪還に成功し、イェルサレム王国が建てられた。
- c 十字軍には諸侯や騎士といった軍人層のほか、商人や庶民も参加した。
- d 十字軍は東方との往来を活発化させ、南イタリア諸都市が東方貿易の主力を担うようになった。

(2) 12世紀後半、イスラーム勢力は、サラディン(サラーフ=アッディーン)の登場により状況を好転させた。この人物の説明として正しいものはどれか。

- a 軍事政権であるブワイフ朝を開いた。
- b 彼の開いた王朝では、シーア派の信仰が回復された。
- c クルド人武将でファーティマ朝を倒した。
- d 第2回十字軍に対してイェルサレムを攻撃し、これを手に入れた。

- (3) 13世紀前半から同世紀半ばにかけての十字軍について説明した下記の文のうち、誤っているものはどれか。
- a 教皇インノケンティウス3世が提唱した第4回十字軍は、ビザンツ帝国(東ローマ帝国)の首都を攻撃・略奪した。
 - b 多数の子どもや貧民が参加した少年十字軍は、熱狂的な運動として聖地をめぐしたが、奴隷にされるなど悲劇的な結果に終わったとされる。
 - c シチリア王でもあった神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世は、最新の軍事技術を駆使してエルサレムを回復した。
 - d フランス王ルイ9世は、第6回十字軍でエジプトに侵攻したが、マムルーク朝に大敗した。
- (4) 13世紀後半、西ヨーロッパはモンゴル勢力と提携してイスラーム勢力に対抗しようとし、東方とのあいだでは使節の往来や交流がさかんになった。このことについて、ここでの「モンゴル勢力」および「イスラーム勢力」の正しい組み合わせはどれか。
- a キプチャク＝ハン国－サーマーン朝
 - b イル＝ハン国－マムルーク朝
 - c オイラト－ムラービト朝
 - d カラハン朝－ゴール朝

問5 下線部(E)について、教皇の名とその事績が合致しているものはどれか。

- a グレゴリウス1世－アッティラ王を退去させた
- b ボニファティウス8世－ヴォルムス協約を締結した
- c インノケンティウス3世－ジョン王を破門した
- d グレゴリウス7世－教会大分裂を引き起こした

問6 下線部(F)について、中世における修道会の活動を説明した下記の文のうち、正しいものはどれか。

- a ベネディクト修道会は「戒律」を定めたベネディクトゥスによって創設されたが、きわめて閉鎖的な組織で大きく成長することはなかった。
- b シトー修道会は清貧と労働を重んじ、ヨーロッパ各地に修道院を建設して開墾運動を促進した。
- c フランチェスコ修道会は農村での教化活動を主な目的とし、ロマネスク彫刻などを通じて文字の読めない農民を教え導いた。
- d ドミニコ修道会は神学研究を重視したため、異端審問の制度に強く反対した。

問7 下線部(G)について、11～13世紀頃カトリックを受容していなかった人びとはどれか。

- a クロアチア人 b ポーランド人 c セルビア人
- d チェック人

4

設問1 次の文章を読み、問(1～6)に答えなさい。

南北アメリカ地域は、1492年にコロンブスが西インド諸島にあるサン＝サルバドル島に到達するまで、ヨーロッパ世界と交渉を持つことなく、独自の世界が展開していた。より具体的には、最終氷期に海面が現在よりも低くなっていたことにより陸橋となっていたベーリング海峡を通過してシベリアから到来した人々が、食料を求めて南進・拡散し、南北アメリカ大陸およびカリブ海の島々のさまざまな場所で多様な文化を花開かせていったのである。なかでも現在のメキシコ中部から中米地峡にかけて広がるメソアメリカと南アメリカのアンデス地帯は、すぐれた農耕技術に支えられて発展し、複雑な宗教体系や高度な建築技術を含む特徴

ある文明が築き上げられた。

問1 下線部(A)はどの都市の出身といわれているか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a リスボン b フィレンツェ c ジェノヴァ d カデイス
- e ヴェネツィア

問2 現在にまでつながる伝統は残さなかったが、下線部(A)以前にアメリカ大陸に到達していた可能性がある民族はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a 西ゴート人 b ノルマン人 c マジャール人
- d ベルベル人 e 東ゴート人

問3 下線部(B)は、現在のどの国の領土になっているか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ニカラグア b ベネズエラ c バハマ d エルサルバドル
- e ジャマイカ

問4 下線部(C)に含まれないものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a チャビン文化 b テオティワカン c テノチティトラン
- d オルメカ文明 e マヤ文明

問5 下線部(D)では15世紀にインカ帝国が成立したが、現在の南米諸国のうちその領土にインカ帝国の最大勢力圏が及ばなかった国はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a コロンビア b ベネズエラ c エクアドル d チリ
- e ボリビア

問6 下線部(E)について、南北アメリカ原産でない作物はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a トウガラシ b コーヒー c ジャガイモ d トマト
e カカオ

設問2 次の文章を読み、問(1～5)に答えなさい。

マルコポーロ『世界の記述』(『東方見聞録』)、度重なる十字軍^(A)の遠征、イベリア半島における国土回復運動(レコンキスタ)^(B)の経験、地中海貿易を通してもたらされる香辛料などへの関心から、ヨーロッパ人はアフリカ、アジア、さらには南北アメリカへと遠洋航海を企てるようになる。

ヨーロッパ諸国で最初に遠洋航海に乗り出したのは、イベリア半島の中で比較的早い時期にレコンキスタを完了したポルトガルであった。強力な海軍と卓越した航海術に支えられたポルトガルは、領域的支配を行うことなく、四大拠点となる港^(C)を介して東アジアとリスボンを結ぶ直接交易のみならず、東・東南アジア域内の仲介交易を盛んに行って大きな収益を上げた。

東まわり航路を押さえたポルトガルに対抗したスペインは、西まわりにアジアに到達しようとしたコロンブスを後援し、結果的に南北アメリカに広大な領土を持つことになった。大陸部では、コルテスがアステカ王国を征服し^(D)、ピサロがインカ帝国を征服^(E)したほか、バルボアはパナマ地峡を横断^(F)して太平洋に至り、スペイン王の後援を受けて西まわりアジア航路発見のために出発^(G)したマゼランは、アメリカ大陸の南端を回ってフィリピンに到達、そこをスペイン領と宣言した。マゼラン自身はフィリピンで戦死したが、その部下らがスペインに帰還^(H)し、地球が球体であることが証明された。

スペインによる新大陸統治はどのように進展したのだろうか。当然のことながらコルテスら「征服者」(コンキスタドール)は当初、南北アメリカがどのような土地なのかまったくわからないまま探検と征服を進めていた。そのような中、スペイン国王の側でもしっかりとした統治機構を整えることは困難であったため、採用されたのがエンコミエンダ制^(I)であった。したがって、スペインによる統治が定

着し、また国王が本国から派遣する官吏が多くなってくると、エンコミエンダは徐々に衰退し、18世紀にはほぼ消滅することになったのである。

問1 下線部(A～B)について、第1回十字軍と同じ頃、イベリア半島の広い範囲を支配していたイスラーム勢力はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ムラービト朝 b ムワッヒド朝 c 後ウマイヤ朝
d ファーティマ朝 e ナスル朝

問2 下線部(B)について、これが完了したときのイスラーム勢力はどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ムラービト朝 b ムワッヒド朝 c 後ウマイヤ朝
d ファーティマ朝 e ナスル朝

問3 下線部(C)について、ポルトガルの四大拠点となる港に数えられないのはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a カリカット b ゴア c 平戸 d マカオ e マラッカ

問4 下線部(D～H)について、それらが生じた順番として正しいものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a G—H—D—E—F b F—E—D—G—H
c D—E—F—G—H d F—G—D—H—E
e G—F—H—D—E

問5 下線部(I)について、その説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 征服者は、エンコミエンダ制の下で先住民をキリスト教化し、彼らの「魂を救済する」義務を国王に対して負った。
- b 征服者は、エンコミエンダ制の下で先住民に労役を課すことを国王より認められた。
- c 征服者は、エンコミエンダ制の下で軍功に対する恩賞として土地の所有権を国王から与えられた。
- d 征服者は、しばしば先住民を対等な人間としては見ず、奴隷同様の扱いを行った。

設問3 次の文章を読み、問(1～6)に答えなさい。

現在、ラテンアメリカと呼ばれている地域では、そのほとんどの国々が19世紀前半に政治的独立を達成した。その最初は、カリブ海に浮かぶフランス領植民地(A)が1804年にハイチとして独立した例である。

ハイチの独立には、1789年に本国フランスで勃発した革命が大きな影響をもたらした。(A)では、18世紀以降、プランテーションで多数の黒人奴隷を使役した砂糖生産が活発になっていたが、「植民地」という存在も、またそこで黒人が「奴隷」として使役されていることも、人権宣言^(B)に象徴される革命の理念と齟齬をきたすものであったからである。1791年に始まった奴隷解放運動は、後述のナポレオンの弾圧を受けると、独立運動^(C)へと転化したのである。

スペイン領植民地の独立過程にも、フランス革命がかかわっている。革命軍の将校であったナポレオン＝ボナパルト^(D)は、クーデタで政権を握ると、1804年に皇帝に即位したが、革命理念によるヨーロッパ統一を目指して1808年、イベリア半島に侵入した。スペインを占領したナポレオンは、スペイン王を退位させ、その座には自らの兄を据えたが、これを機にスペイン領植民地では国王が派遣した副王や地方官の権威が失墜し、自治の動きが活発化したからである。こうして1810年代に入ると、スペイン領植民地のほとんどの地域で独立運動が開始される^(E)ので

ある。

問1 空欄(A)に当てはまる用語として最もふさわしいものはどれか。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a マルティニク b グアドループ c サン＝ドマング
d カラカス e レユニオン

問2 下線部(B)について、その説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 主権が国民に存することを明示的に宣言し、その後の民主主義体制の基礎となった。
b 革命の理念を示したものとして、1791年憲法の前文にそのまま取り入れられた。
c 所有権がこれにより明示的に宣言され、その後の経済発展の礎となった。
d 男女同権を明示的に宣言し、「法の下での平等」の理念を強化した。

問3 下線部(C)について、これを主導したのは誰か。選択肢(a～e)から1つ選びなさい。

- a ミラボー b ラ＝ファイエット c サン＝マルティン
d ロベスピエール e トゥサン＝ルヴェルチュール

問4 下線部(D)について、その説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 政権を握る機会となったクーデタは、革命暦の日付から「テルミドール9日のクーデタ」と呼ばれる。
- b フランスと対立関係にあったローマ教皇との和解に成功した。
- c 革命の成果を盛り込んだ民法典(ナポレオン法典)を定めた。
- d ナポレオン一世としての戴冠式では、自らの手で戴冠し、ローマ教皇の相対的地位が低くなるよう演出した。

問5 下線部(E)に関連する説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ベネズエラ出身のシモン＝ボリバルが南米北部諸国の独立を達成したのち、南米南部からの勢力を話し合いの上、糾合し、旧スペイン領植民地の独立が達成された。
- b 旧スペイン領植民地の独立が達成された裏には、工業製品の市場を求めたイギリスの支援があったことも大きな要因である。
- c 旧スペイン領植民地の独立運動が活発化したのは、ヨーロッパ諸国の米州介入を嫌ったアメリカ合衆国がモンロー主義を宣言していたことが大きな要因である。
- d メキシコの独立は、スペインでの自由主義革命勃発を嫌ったクリオーリョ保守層により達成されたため、同国は帝国としてスタートを切った。

問6 旧ポルトガル領植民地であったブラジルに関する説明として誤っているものはどれか。選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 南米大陸東部がポルトガル領ブラジルとなったのは、1494年制定のトルデシヤス条約がその一因となっている。
- b 東まわり航路に注力していたポルトガルがブラジルを領有するきっかけになったのは、1500年に東まわり航路を航行中のカブラルが西に流されてブラジルに漂着したことである。
- c ブラジルが独立したのは、ナポレオンのイベリア半島侵攻の際、リオデジャネイロに逃れていたポルトガル王室が、ウィーン体制確立後にリスボンに戻った後もブラジルに残っていた皇太子を現地保守派が擁立したことによるものである。
- d 帝国として独立したブラジルであったが、1824年には連邦共和国へと移行した。

